



週)報

2014~2015年度))) R I 会長)ゲイリー C . K .ホアン)
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)
地区のテーマ)))「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL)04-2952-2277) FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)江原伸夫)副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第3グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第1038回(5月12日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
第2副SAA 園部君 田端君
卓話講師 第2570地区国際奉仕部門
国際支援委員会 副委員長
田島博夫様(行田さくらRC)
ビジター 米山奨学生 趙恩恵さん

それが成功し、このトミージョンは肘を怪我する前は120勝ちょっとしていたのですが、手術後復帰してからは160勝超、合計で288勝という大投手になったことで、この手術が今や当たり前のごとく行われるようになりました。

どんな手術かといいますと、損傷した靭帯を切除した上で、反対側の腕の正常な腱を移植、そしてその靭帯が修復するのを待つというものです。1度で治るといってもいれば、また壊して2度3度と受ける人もおります。この手術はリハビリが長く、約2カ月で生活するようになりハビリをし、それから約15カ月で復帰をしていくということです。そして成功率ですが、今はメジャーの人が82%、マイナーを入れると97%の人が治って帰ってくるということです。

田中が怪我をして昨年7月から休んでいるわけですが、今ニューヨークの方では、やはり昨年7月にいっそのこと手術をしてしまっ、今年を棒に振っても来年復帰した方が良かったのではないかという話がでてきているところです。

この手術をして、中には3km/hスピードが速くなる人もいます。通常は治って復帰をすると、1km/h~1.5km/hの間でスピードがダウンするくらいですので、やはり手術は受けた方が良いということだと思います。そしてどうして肘の靭帯に損傷がくるのかということですが、やはり速球の全力投球がダメージとなるそうです。例えば岩隈や黒田はメジャーでやっておりますが、肘を壊しておりません。これはやはりどちらかということと速球タイプではないということ、しかしダルビッシュや田中は速球派投手ということで、やはり肘にダメージがいくということです。そして若い頃からの蓄積したダメージ、田中将大は高校野球の時にかなり投げかけております。そして楽天で星野にかなり酷使されたのでこれも影響しており、今は高校野球の頃からある程度肘を管理しないと、どうしても肘を悪くするという事です。そして投球フォームによる影響、球種による影響、これも最近ではスプリッターやスライダー、カットボー

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
40名	33名	81.58%	83.78%

会長の時間

稲見会長

今日は田島様、どうぞお話よろしくお願ひ致します。そして6月23日がいよいよ最後の夜間例会・親睦会ということで、ここに寶積パスト会長のご厚意で、ポセスラティーナを呼んでおります。皆様ご承知おき頂ければと思います。



今日はメジャーのピッチャーの肘についてお話ししたいと思います。

今年3月にダルビッシュが肘の手術を致しました。肘の側副靭帯を損傷し、トミージョン手術というものを受けてました。田中将大も昨年7月にやはり肘を故障して、それから半年余り棒に振り、今年は2勝1敗ということで出場はしてはりましたが、やはり先日肘を壊しまして、今は戦列から離脱しているという状態です。

先ほど言いましたトミージョン手術、これを受けている選手は今かなり多く、日本からメジャーに行った選手で言いますと、松坂、和田、藤川球児、田澤等、本当に日本の名だたるピッチャーが肘を故障しております。日本で言いますと桑田真澄、村田兆治、この辺がやはり同じ手術を受けております。このトミージョン手術というのは、1974年にフランクジョブ博士がメジャーのトミージョンという選手に靭帯修復手術を致しまして、

験もございますが、最近この学校が地震に対してどうなっているかということで、窓口をして頂きました大宮にありますユネスコの本田さんという会長さんに問い合わせを致しましたが、「残念ながら情報が入ってこない」ということ、「10月もしくは11月に必ず行くので、その時に確認報告をしたい」ということでした。そして「宜しければ、もう既に色々な所からの今回の地震に対しての支援を行いたいという声があるので、狭山中央さんもそれでよければ、用意頂ければ私が直に持って行き、向こうとの関係を深めていきたい」とのお話がありました。

ちょうど連休中のお話でしたので、皆さんにお諮りすることがまだできなかったのですが、このようなことをやっていきたいと思っております。来週理事会がございますので、皆さんから義援金を集めて、赤十字等に持って行きますといつどうなっているのかがさっぱりわかりませんので、然るべき具体的なルートを通して事を進めていきたいという思いであります。

その後はっきり致しましたらまた報告出来ると思いますが、今日はお願ひしたいということをお話させて頂きました。当時私は実行委員長をしておりましたので、縁があるところでございますので、何とか少しでも義援金をとっております。ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

「外来卓話」・・・・・・・・

第2570地区国際奉仕部門

国際支援委員会 副委員長 田島博夫様
(行田さくらRC)



【ミャンマー視察報告】

2570地区国際奉仕部門の活動は、日本ユネスコを通じた発展途上国向けの資金援助と日比・日豪の学生の交流の2本柱から始まりました。その後も、交換学生の交流は継続されていますが、日本ユネスコを通じた支援金援助は、より具体的に用途を特定した支援を目的に、埼玉ユネスコを通じたネパールの寺子屋運動、難民を助ける会を通じ

た義足支援、タイの小学校への飲料水ろ過装置の設置事業に軸足が移ってまいりました。

本年度、更に目に見える支援ということで、急速に発展を続け、日本が最も熱い視線を寄せる東南アジアのミャンマーを平成26年11月8日～14日の日程で国際支援委員会5人のメンバーにより視察してまいりました。

ミャンマーを視察に選んだ理由としては、以下のことがあげられます。

1. 長い間の軍事政権による閉鎖的な国家から、ノーベル平和賞を受賞したアウンサンスーチー女子の自宅軟禁解除などにより、ここ数年で民主化が急速にすすんでいる。
2. 日本の1.8倍の国土、5千万人を超える人口のほとんどが熱心な仏教徒で勤勉な国民性を有している。
3. 長い間の軍事政権下で経済発展が遅れ、一人あたりのGNP(国民総生産)は東南アジアでは最下位グループであるが潜在的にはトップグループになる可能性があること。
4. 第二次世界大戦では日本軍が悲惨な戦争の爪痕を残し多くのミャンマー人が犠牲となったが、日本はイギリスの植民地から解放してくれた国というイメージが強く親日家が非常に多いこと。

視察の主たる目的は、ミャンマーの寺子屋教育と大学教育の実情を視察することにより、具体的な支援の在り方を模索することでありました。我々は、その趣旨に沿って以下の施設を訪問しました。

- 1、ヤンゴン市 デイアーティリィ アトカ寺子屋学校
- 2、バカン市 ゼイダウオン モナヒスト寺子屋学校(2013年に2570地区が支援)
- 3、ヤンゴン市 タクマゾン ティカソウ寺子屋学校
- 4、ヤンゴン市 ニタワリ寺子屋学校(今泉奨学会寄贈の図書館設置校)
- 5、ヤンゴン市 第一医科大学 学長と面談
- 6、ヤンゴン市 ヤンゴン大学 副学長と面談
- 7、ヤンゴン市 ミャンマー日本協会 ソーラミン会長(元日本及びフランス大使)と面談

訪問した施設の概要

今回訪問の寺子屋学校は、年齢的には日本の幼稚園児から中学生位までの児童を収容しているところが多く、1学年が30名～80名程度、全校生徒は300人から600人の規模でありました。ミャンマーにおいては、公立学校もあり授業料は無料ですが、ユニホーム代、教材・消耗品代費がかかるため、ほとんどの児童が通うことができません。そのため、すべての費用(地区外の児童は衣食住も含めて、すべて寺が無料提供しているところが多い)を面倒みてくれる寺子屋に通うのが一般的であります。

驚かされるのはほとんどの寺子屋は国、地方自治体の運営費補助などは受けていないことであります。教材費、消耗品費、ユニホーム代、光熱水費、衣食住費は、外国人からの支援金も含め、ほとんどを寺のお坊さんが集める寄付金で賄っているのです。10人から20人いる教師も、ボランティアで無報酬（寄付金が多い時は部分的に支給）です。

上述した1番のデアーティリィ アトカ寺子屋学校資料によると、約600人の児童をかかえる学校を1年間賄う資金が人件費を含めて約200万円で、1か月では17万円弱の運営費なのです。実に、児童一人あたり1か月290円弱、1年間3,300前後で全ての経費を捻出しているのであります。慢性的に資金不足な状況下で寄付金集めを含め児童のために昼夜働くミャンマーのお坊さん、教師のみなさまには我々委員会メンバー同様に頭が下がる思いでの寺子屋訪問、ミャンマー視察の日々となりました。

まとめ

仮に日本の1,000人のロータリアンが一人2,000円ずつ資金援助をすると600人の児童の1年分の学校運営費を賄うことができる……これは大変な驚きであり、我々ロータリアンが真剣に取り組むべき国際奉仕活動であるとの志を強くしたミャンマー視察でありました。「1本のペン、1冊の本が世界を変える」はノーベル平和賞を受賞したパキスタン人のマララさんの言葉です。各クラブをお願いをしている一人当たり2,000円の支援金の拠出にご理解を賜り、みなさまの暖かいご支援を切にお願いしミャンマー報告とさせていただきます。

ニコニコボックス



- 稲見君 行田さくらRC、地区国際支援委員会 田島博夫副委員長、ようこそおいで頂きました。お話よろしくお願ひします。高田会員3分間スピーチ楽しみにしています。
- 江原君 国際ロータリー第2570地区、国際奉仕部門国際支援委員会副委員長、田島博夫様本日はお忙しい中お越し頂きましてありがとうございます。卓話の時間何卒よろしくお願ひ申し上げます。3分間スピーチの高田会員お話し楽しみにしております。宜しくお願ひ申し上げます。
- 栗原(成)君 5月3日に5人目の孫が生まれました。男の子でしたので親は残念がっています。3人目も頑張れと言ってやりました。
- 宮野君 お休みが多くてすみません。
- 坂本君 国際支援委員会、副委員長の田島博夫様卓話よろしくお願ひ致します。高田会員3分間スピーチよろしくお願ひ致します。
- 会員誕生祝 吉川君 佐藤君
夫人誕生祝 奥富君
結婚記念日 江原君 野口君 小幡君 園部君

2014～2015年度 ニコニコ累計額	2,578,000円
------------------------	------------

次の例会 第2副SAA 田中(隆)君 田中(八)君
5月26日(火) 12:30～13:30
会員卓話 小林奈保絵会員